

令和6年3月8日

足立区立梅島第二小学校
校長 竹花 正徳 様

足立区立梅島第二小学校 開かれた学校づくり協議会
会長 鈴木 昌友

令和5年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

学校の教育目標「ゆたかな子」「かんがえる子」「つよい子」を具現化するために、「個の尊重と豊かな人間関係の育成」「基礎的・基本的な学力の定着・向上」「体力向上と健康・安全の推進」の三つの重点目標を掲げ、その達成に向けて先生方が児童一人一人を大切にしながら熱心に取り組まれていることがわかります。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、学校の教育活動の幅が広がり、私たち委員も運動会や学校公開の授業、音楽会等に制限なく参観できるようになり、目の前で梅島第二小学校の児童の活動の姿を見ることができました。その際の児童一人一人の頑張りや活躍に感動しました。日常の先生方の指導によるものと思われまます。

「人権と生命を尊重し、豊かな人間関係の育成」に関しては、学習に入る前の朝のルーティーンづくり、道徳の授業を中心とした豊かな心の教育を通して、落ち着いた、温かな学校づくりが行われていました。児童の様子を保護者と密に連携し、問題の未然防止、早期解決を図った結果、WEBQU調査から親和的な学級が多く、学習集団づくりが行われています。

「基礎的・基本的な学力の定着・向上」に関しては、年度当初に行った区の学力定着の調査で通過率が国語 86.5 ポイント、算数 85.7 ポイントであったと報告を受け、昨年度より国語 3.6 ポイント、算数 2.8 ポイント上回り、全体的に基礎学力は上向いてきていると聞いております。温かな学習集団づくりとともに、ICTを適材で活用した日常の授業、朝のパワーアップタイムの視写や読み取りドリルの活用、放課後の補充学習の積み重ねがあったと聞いております。さらに、「学んだことを必要なときに使える」「自分から 自分で」の浸透を通し、主体的に学習できる児童の育成を推進していることがわかりました。できる児童の割合が増えてきていることはうれしいことです。

「体力向上と健康・安全の推進」に関しては、運動の機会が少なくなる時期には、短なわ、長なわ、持久走にも学校全体で取り組み、河川敷で持久走記録会を実施、応援をすることができた保護者、近隣幼稚園からも好評だったと聞いております。また、年間を通し、外遊びを奨励し休み時間には教員が校庭に出て児童と一緒に遊ぶ姿は梅島第二小学校のよい伝統と感じました。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

「ICT機器の活用について」は、児童用がクロームブックに統一され活用しやすくなったこと児童朝会のICT活用と参集のハイブリッド、クラスルームの活用、AIドリルの導入活用な

どICTを活用した教育活動が推進されました。9月からは、H&Sにより出欠の確認ができるようになり朝の所在確認の効率化ができました。一方、スマホやタブレット等のICT機器は、私たちの生活を便利する一方で、利用方法を間違えたために人の心を傷つけたり、良好な人間関係の構築を阻害したりするマイナスの事案もニュース等で取り上げられるようになってきています。

しかし、これから生きていく子供たちにとってICT機器の活用は不可欠なものです。SNSルール等を基本に、子供たちに正しい使用方法を身につけさせる必要があります。各家庭においては責任をもって家庭でのSNSルールやマナーについてご指導いただきたいと考えております。

今後、様々な機会を児童一人一人に与えることで達成感を感じていただき、できること、夢中になれることを増やし、一人一人が活躍し輝く学校であることを期待します。今後も家庭・地域との連携を密にし、知・徳・体の調和のとれた児童を育ててください。

尚、各教室や体育館にエアコンが有り、学習はできる環境ができています。WBGTの高い暑い時期、校庭での活動やプールをつかった学習をどのようにするのが課題と感じております。

3 その他

今年度も、学校だよりやホームページ、開かれた学校づくり協議会において、児童の実態や社会の変化に対応した教育活動の様子や児童の活躍を知ることができました。

令和6年度の周年行事に向け取組を本年度より実行委員長を中心に組み立ててまいりますので、その際に保護者の方々地域の皆様方には是非ご協力の程よろしく願いいたします。

令和6年4月からの学校教育活動のさらなる発展を期待します。